

2025 年度
一般推薦入試
(保健医療学部)
小論文 (100 点・90 分)

東京消防庁管内（東京都のうち、稲城市、島しょ地区を除く地域）では、令和元年中、日常生活における事故（交通事故を除く）により、約 14 万 5 千人が救急搬送されました。救急搬送の半数以上は 65 歳以上の高齢者で、平成 27 年から令和元年までの 5 年間に 38 万人以上の高齢者が、日常生活上の事故により救急車で医療機関へ搬送されました。下記の表 1 は、事故種別が「その他」、「不明」なものを除いた総数 333, 234 人の事故種別ごとの高齢者の救急搬送人数を示しています。また、右の表 2 は、令和元年中の住宅等居住場所における高齢者の「転ぶ」事故の発生場所上位 5 つを示しています。さらに、右の表 3 は令和元年中の高齢者の「落ちる」事故の事故原因上位 5 つを示しています。

これら 3 つの表から読み取れることをまとめなさい。また、この結果から理学療法士や作業療法士ができる支援は何が考えられるか、合わせて 800 字～1, 000 字で述べなさい。

表 1：事故種別ごとの高齢者の救急搬送人数（平成 27 年から令和元年）

事故種別	救急搬送人数（％）
ものが詰まる等	8, 435 人 （2. 6％）
落ちる	34, 986 人 （10. 5％）
転ぶ	273, 491 人 （82. 1％）
ぶつかる	6, 750 人 （2. 0％）
切る・刺さる	2, 825 人 （0. 8％）
溺れる	2, 702 人 （0. 8％）
挟まれる	1, 756 人 （0. 5％）
噛まれる・刺される	1, 214 人 （0. 4％）
火傷	1, 075 人 （0. 3％）

表 2：住宅等居住場所における高齢者の「転ぶ」事故の発生場所上位 5 つ（令和元年）

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
事故発生場所	居室・ 寝室	玄関・ 勝手口	廊下・ 縁側・ 通路	トイレ・ 洗面所	台所・ 調理場・ ダイニング・ 食堂
救急搬送人数	22,902 人	3,187 人	2,342 人	1,000 人	898 人

表 3：高齢者の「落ちる」事故の事故原因上位 5 つ（令和元年）

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
関連器物	階段	ベッド	椅子	脚立・ 踏み台・ 足場	エスカレー ター
救急搬送人数	2,895 人	1,117 人	549 人	385 人	141 人

東京消防庁のウェブサイト「救急搬送データからみる高齢者の事故」より作成

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/topics/202009/kkhansoudeta.html>